

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

本調査は、10年間のまちづくりの方針を示す「第3次東御市総合計画」（令和6～15年度）の策定に向けて、

- ①次期計画の将来都市像、政策・施策、協働等に関する市民意識の把握
- ②次期計画の進捗管理（及び現行計画の評価）のための市民意識の把握を目的に、実施している。

### 2. 調査の方法

住民基本台帳から無作為で抽出した満16歳以上の市民2,500人を対象に、本調査を実施した。郵送で配布し、「質問紙」又は「インターネット」を選択して回答していただいた（回答用番号を付与し、重複回答を防いだ）。

調査対象者	満16歳以上の市民
配布数	2,500件
抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出
配布方法	郵送
回答方法	質問紙による回答とインターネットによる回答を選択

### 3. 調査の実施状況

調査期間	令和4年9月12日～9月30日
回答数	865件 (質問紙による回答:648件 インターネットによる回答:217件)
有効回答数	864件
有効回答率	34.6%

- 本調査の配布数は、信頼度95%・許容誤差5%を満たす水準で分析ができるよう設計されている。
- 本調査の有効回答数は864件であり、信頼度95%・許容誤差3.3%の水準となっている。設計値の精度を上回っており、統計的に有効な結果が得られていると捉えられる。

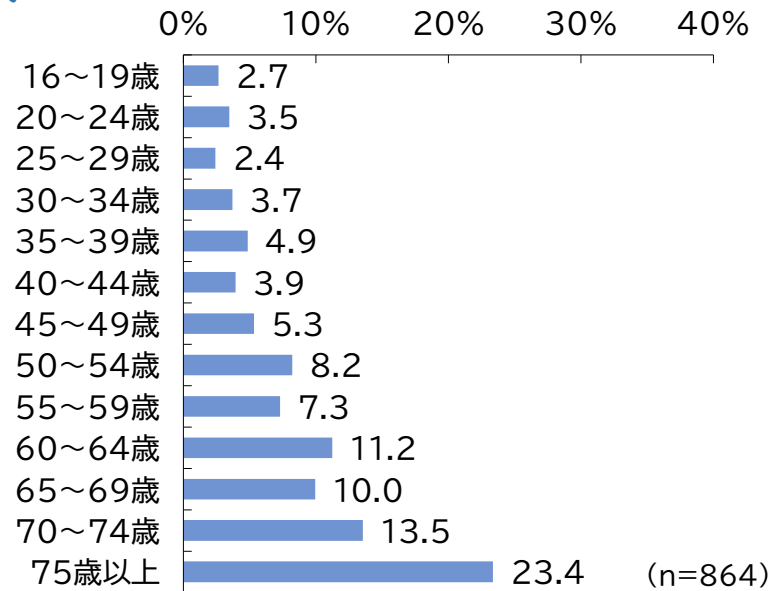
### 4. 調査結果を見る際の留意点

- 報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合や文中に示す数値とグラフの数値が一致しない場合がある。
- 図表内のnは該当する設問の回答者数を表す。無回答を除いて集計しているため、設問ごとに回答者数が異なる。
- 1人の回答者が2つ以上の回答をすることができる複数回答の設問では、回答数の合計を回答者数(n)で割った比率を示しており、比率の合計は100%を超える。

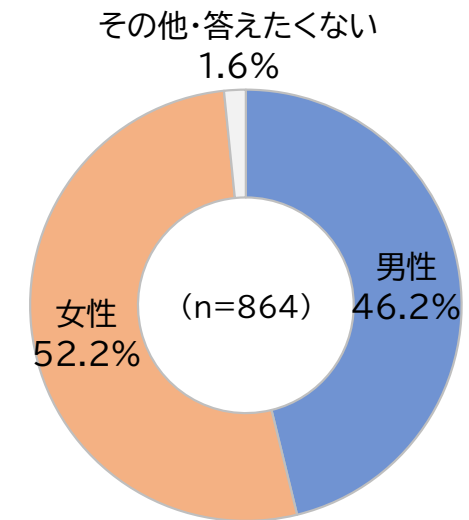
## 5. 回答者の属性

- 年代をみると、年齢が上がるにつれて、回答が多くなる傾向がある。
- 性別をみると、男女はほぼ同数となっている。
- お住まいの地区をみると、「田中」(28.5%)が最も多く、次いで「和」(20.4%)となっている。
- 居住年数をみると、「20年以上」(70.8%)が最も多くなっている。

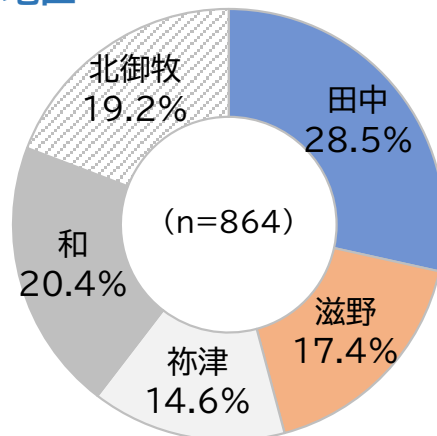
### (1)年代



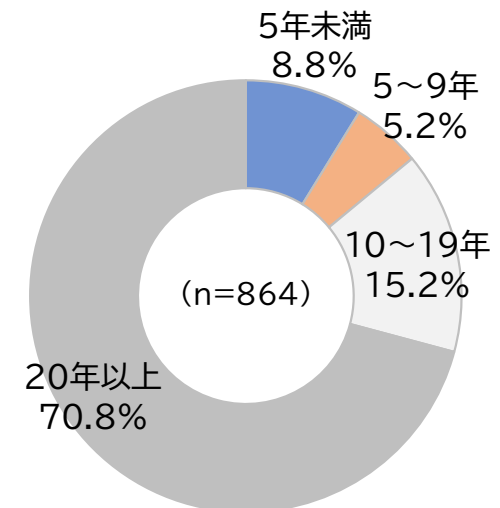
### (2)性別



### (3)お住まいの地区



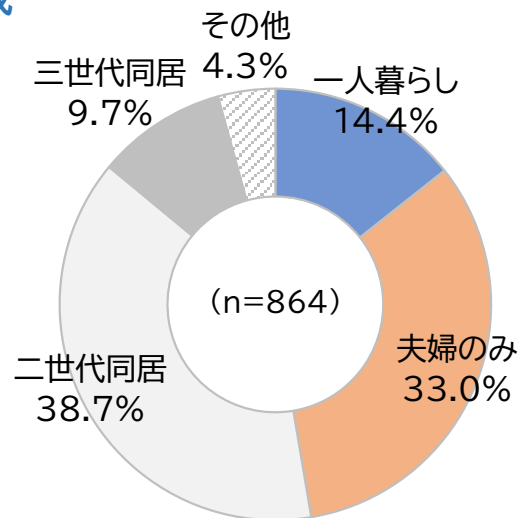
### (4)居住年数



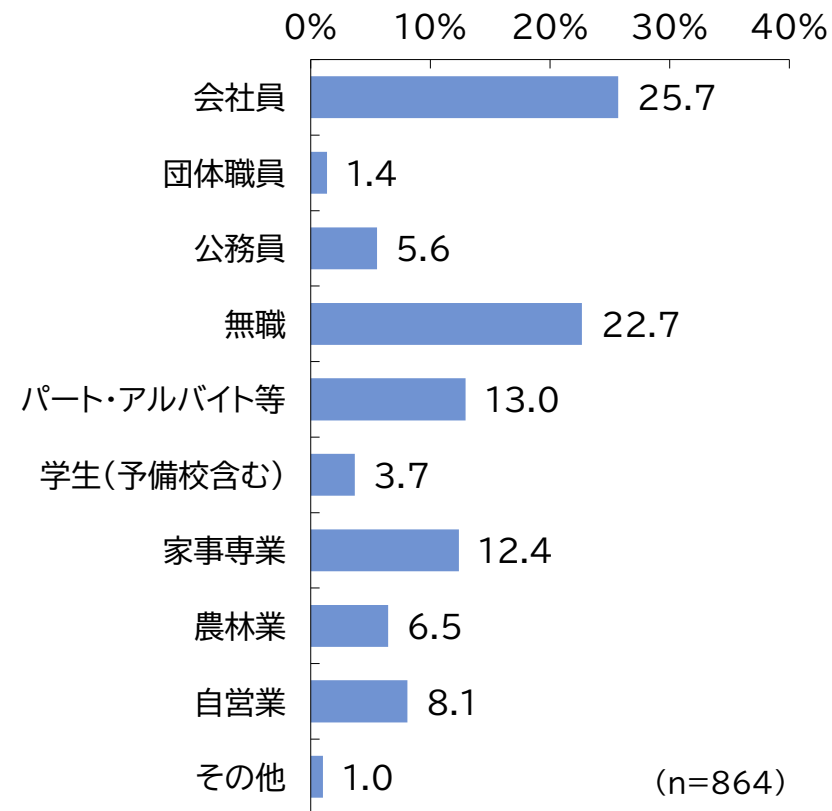
## 5. 回答者の属性

- 家族構成をみると、「二世世代同居」(38.7%)と最も多く、次いで「夫婦のみ」(33.0%)となっている。
- 職業をみると、「会社員」(25.7%)が最も多く、次いで「無職」(22.7%)となっている。
- 通勤・通学状況をみると、「市内」「市外」「通勤・通学はしていない」がほぼ同数となっている。

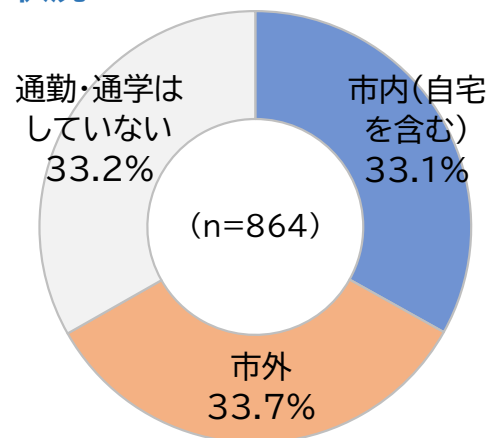
### (5) 家族構成



### (6) 職業



### (7) 通勤・通学状況



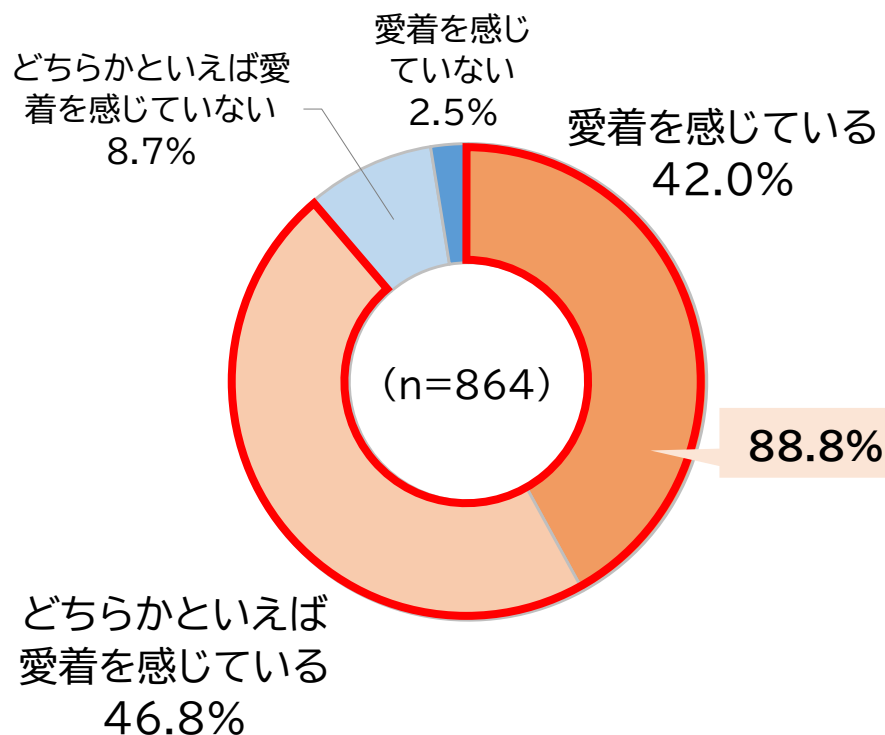
# 第2章 調査の結果

## 1. 東御市のことをどう感じているか

### (1) 愛着度 「東御市に愛着を感じますか」

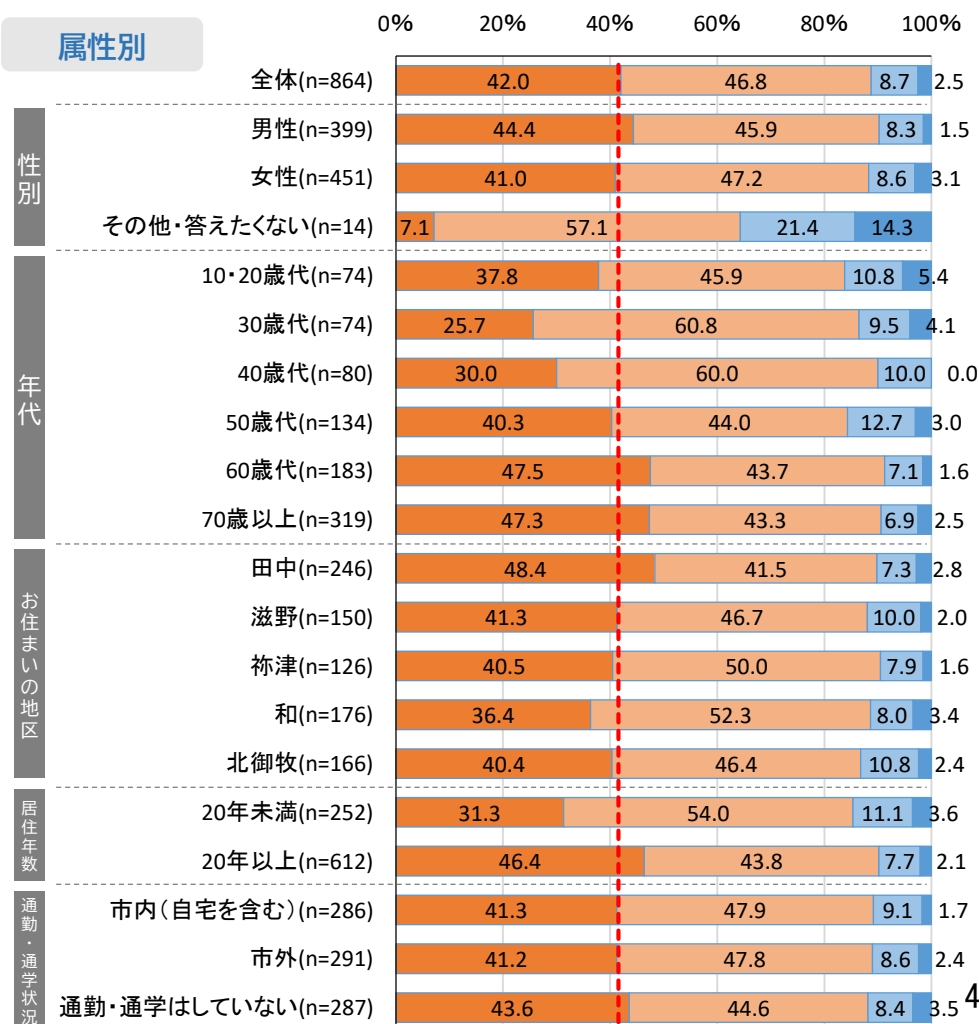
- 「愛着を感じている／どちらかといえば愛着を感じている」が88.8%となっている。
- 属性別にみると、年代が上がるにつれて「愛着を感じている」が多くなる傾向がある。また、居住年数が長い方が「愛着を感じている」が多くなっている。

回答者全体



■ 愛着を感じている ■ どちらかといえば愛着を感じている  
■ どちらかといえば愛着を感じていない ■ 愛着を感じていない

属性別

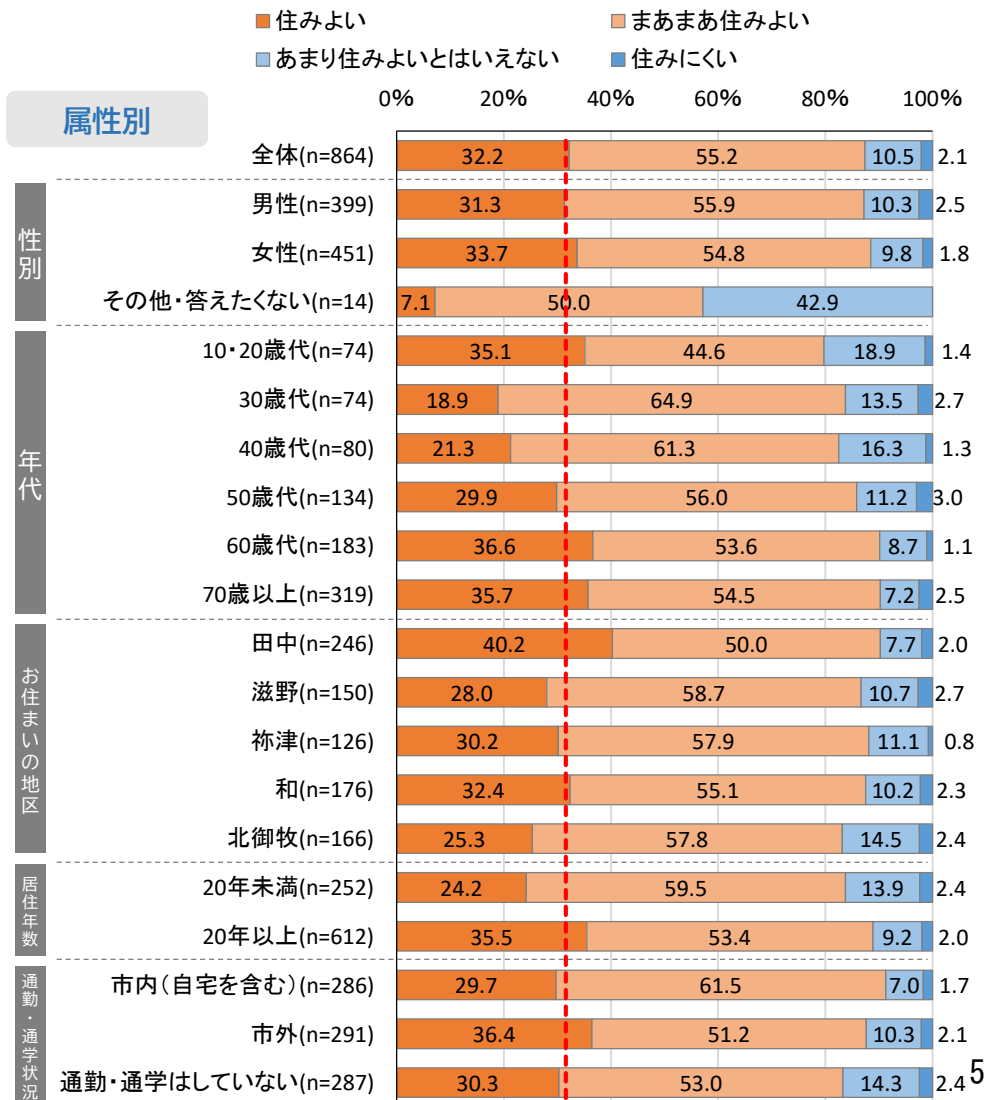
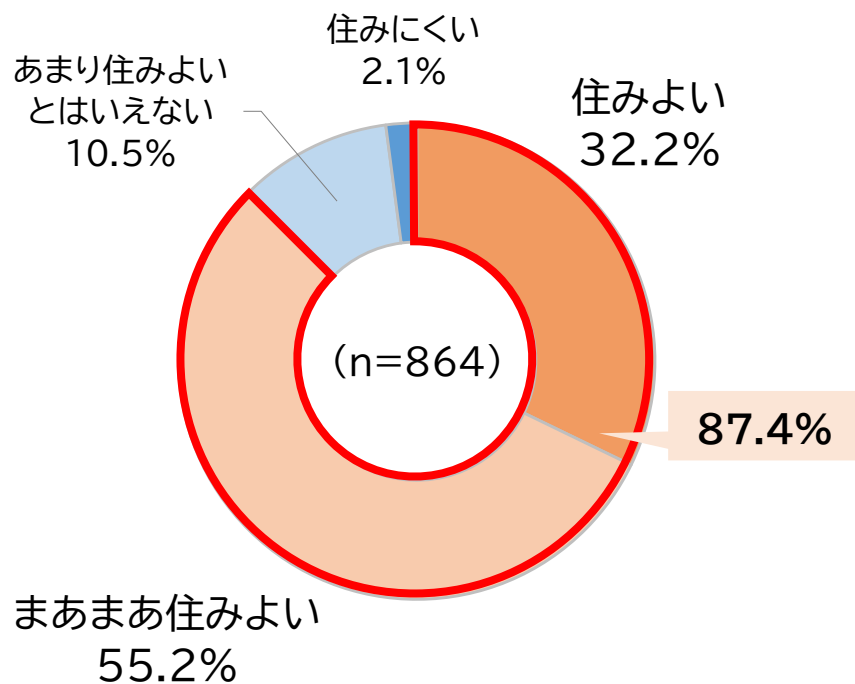


# 1. 東御市のことをどう感じているか

## (2) 住みよさ 「あなたにとって、東御市は住みよいまちですか」

- 「住みよい／まあまあ住みよい」が87.4%となっている。
- 属性別にみると、年代が上がるにつれて「住みよい」が多くなる傾向がある。また、居住年数が長い方が「住みよい」が多くなっている。お住まいの地区では、「住みよい」に14.9ポイントの差が生じている（田中と北御牧）。

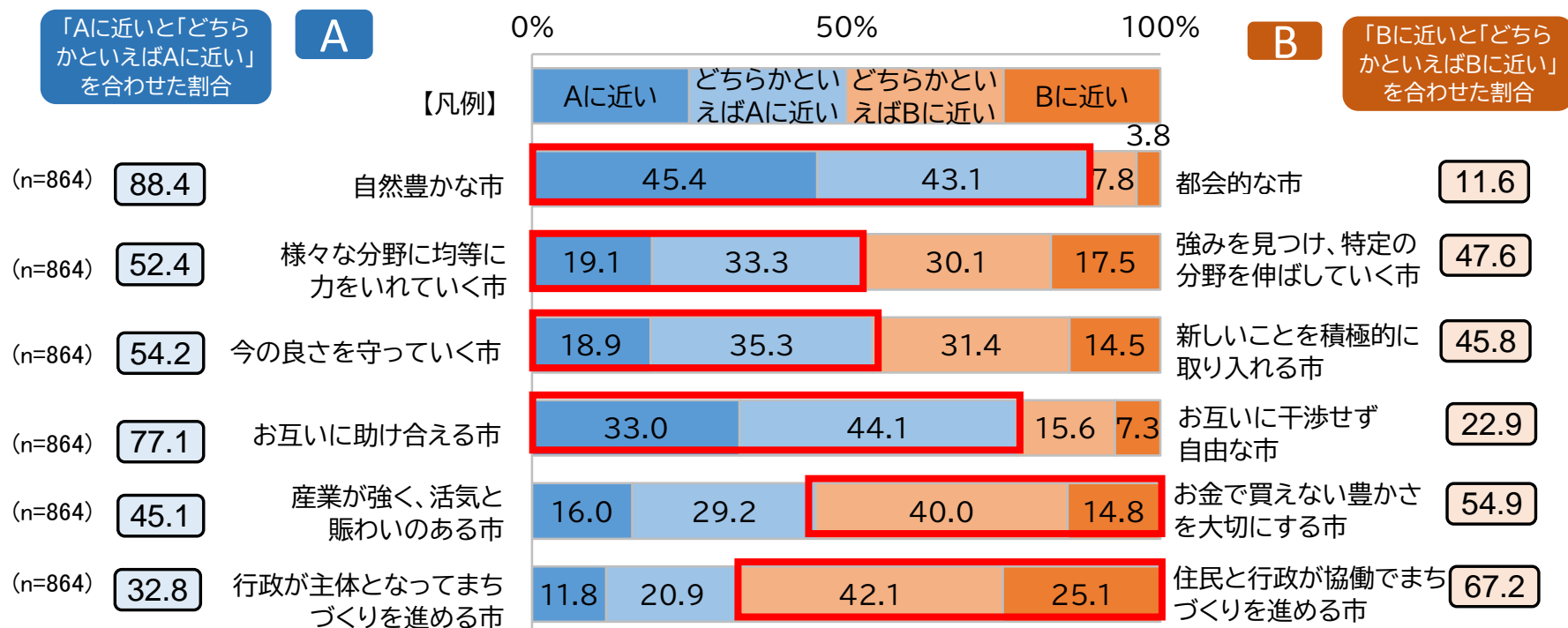
回答者全体



# 1. 東御市のことをどう感じているか

## (3)理想の東御市イメージ 「東御市は10年後にどのような市になっているべきだと思いますか」

- 理想の東御市イメージを、いくつかの視点で聞いたところ、以下の結果となっている。
    - ・ 都会的より、「自然豊かな市」
    - ・ お互いに干渉せず自由より、「お互いに助け合える市」
    - ・ 行政が主体となってまちづくりを進めるより、「住民と行政が協働でまちづくりを進める市」
- ※その他の項目は、回答が二分している。

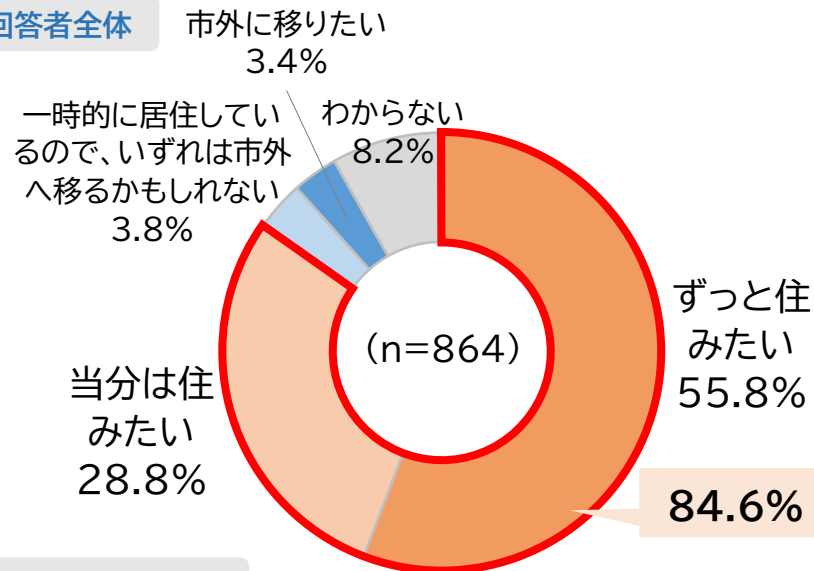


# 1. 東御市のことをどう感じているか

## (4) 定住意向 「あなたは、これからもずっと東御市に住み続けたいと思いますか」

- 「ずっと住みたい／当分は住みたい」が84.6%となっている。
- 属性別にみると、年代が上がるにつれて「ずっと住みたい」が多くなる傾向がある。また、居住年数が長い方が「ずっと住みたい」が多くなっている。

回答者全体



市外へ移りたい理由

分野	理由	回答数
環境分野	ゴミの分別が周りの市に比べて厳しいから	1
	ゴミ袋代が高いから	1
	道路の騒音がひどいから	1
建設・公共交通・水道分野	交通の便が悪いから	2
	公共交通が使いづらく、車に乗れなくなる時が不安だから	2
	坂道が多く不便だから	1
子育て・教育分野	子育て関連の支援に不満があるから	1
	子どもに対するサービス(塾等)が少ないから	1
産業振興分野	お店(スーパー等)が少ないから	4
多様な人が共生するまちづくり分野	人目を気にする暮らしになっているから	1
	人が意地悪、陰口がある。差別用語も多いから	1
行財政分野	税金が高いわりに、その恩恵を感じにくいから(一歩遅れていると感じる)	3
	高地プールは失政だと思うから	2
	市民のことを考えていないように感じるから	1
その他	東御市以外でも暮らしてみたいから	3
	都会に行きたいから	2
	故郷に帰りたいから	1
	子どものところに行きたいから	1

